

地区名	武蔵村山市
研究テーマ	身の周りの「不思議がいっぱい」を感じ、「調べてみたい」と思う予想の場面
<div data-bbox="161 409 355 450" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1 研究報告</div> <p data-bbox="161 465 1437 607">本市では昨年度、「自力で考察が書ける児童の育成」を目指していた。その研究を通して、予想を立てるための手だてを充実や自分の立場を明確にさせることで、児童が主体的に考えることができるようになっていった。</p> <p data-bbox="161 622 1437 819">そこで、児童が主体的に問題解決したいと意欲的に考えられるようにするには、教材との出会いを大切にすることで、予想場面を充実させることができ、見通しがもてるのではないかと仮説を立てた。また、児童から出た予想や実験方法から様々な疑問をもち、自力で問題解決できるような児童の育成を目指す。</p> <p data-bbox="161 835 1437 927">また、今年度行う2回の授業は同じ単元の導入を行い、教材との出会いを変えることで、児童の反応を比較していく。</p> <div data-bbox="161 994 355 1034" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2 研究授業</div> <p data-bbox="193 1050 544 1090">9月9日 11月11日</p> <p data-bbox="193 1106 560 1146">第五学年 「物のとけ方」</p> <div data-bbox="161 1162 579 1202" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3 研究テーマに迫る手だて</div> <p data-bbox="161 1218 480 1258">9月9日 指導案より</p> <p data-bbox="161 1274 639 1314">① 予想を立てる手がかりの工夫</p> <p data-bbox="161 1330 1437 1514">→実験方法の見通しをもつために「水にとけそうなもの、水にとけるか調べたいもの」について予想し、水に溶かす方法について図や絵を用いて説明をノートに記述した。これにより、本時の学習問題である「ものが水に溶ける量には限りがあるのだろうか」を調べる方法を計画するための手助けになるのではと考えた。</p> <p data-bbox="161 1529 608 1570">② 予想を交流する場面の工夫</p> <p data-bbox="161 1585 1422 1680">→班員をA～Dに分け、他の班の意見をそれぞれ交流する。その後、自身の班に戻り、互いに予想していたことを交流し、予想の根拠を明確にする手だてとなった。</p> <div data-bbox="161 1744 355 1785" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4 研究計画</div> <ul data-bbox="193 1800 1007 1939" style="list-style-type: none"> ・部会の年間計画及び本年度の研究テーマ立案（6月） ・学習指導案検討（8月） ・研究授業（9月・11月） ・研究のまとめ（12月・1月） ・講習会（2月） 	